

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 平日誘客促進キャンペーン事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111 (内3959)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,000 千円 (前年度予算額：30,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	30,000	15,000	0	0	0	0	0	0	15,000
要求額	30,000	15,000	0	0	0	0	0	0	15,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

「全国旅行支援」事業終了後の反動を最小限とし、観光消費額の回復及び拡大を図っていくためには、観光消費額の落ち込みの特に大きい平日旅行をターゲットに、旅行検討者に対して旅行の購入に繋がる販売促進・プロモーションを実施することが重要である。

岐阜県への旅行商品を多く提供しているオンライン旅行会社や交通事業者等と連携した販売促進を実施し、平日の県内への誘客を強化するとともに、長期滞在につながるプロモーションを実施する。

(2) 事業内容

オンライン旅行会社のWebを中心としたプロモーションを強化し、県内観光事業者と連携した事業を実施するとともに、マイクロツーリズム等新たな旅のスタイルを意識した国内誘客キャンペーンを展開する。

- ① オンライン旅行会社 (OTA) を活用した宿泊促進 (15,004千円)
- ② 県内周遊ドライブキャンペーン (3,080千円)
- ③ MaaSアプリを活用した周遊促進 (2,145千円)
- ④ 平日誘客のプロモーション (9,771千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県内への誘客・宿泊促進は県の事業である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	30,000	① 特別宿泊プランの造成・販売 ② 県内周遊ドライブキャンペーン ③ MaaSアプリを活用した周遊促進 ④ 平日誘客のプロモーション
合計	30,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想 II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり
3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす
(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 後年度の財政負担

観光消費額拡大のためには、岐阜県の観光情報を効果的・継続的に発信し、宿泊促進による観光消費額の増大を図る必要があるため、後年度も継続。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 一つのエリアで複数泊（連泊）し、これらの周遊を促進することで、本県の高品質かつ本物の魅力が満喫できる宿泊滞在型観光を定番化する。

- ・第1ステージ(H20-24) 観光資源の掘り起こしとブランディング<点の拡大>
- ・第2ステージ(H25-29) 宿泊滞在型観光の本格展開<点から線へ>
- ・第3ステージ(H30-) 岐阜ならではの宿泊滞在型観光の定番化<線から面へ>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額	/	2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)	/	4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	観光客の県内周遊滞在を促進し、観光消費額を拡大させるため、旅行検討ツールとして主流であるインターネットを活用した宿泊・観光PRを行い、岐阜県への興味を喚起する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	平日誘客キャンペーンの実施により、一人当たりの平均観光消費額や高速道路周遊プランの利用者数が増加しているなど、着実に成果は上がっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	OTAのオンハンド実績等を活用し、データを分析しながらより効果的な誘客手法を検討している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 全国旅行支援の終了により、事業終了後の反動が発生している。コロナ禍以前と比較すると、旅行需要は回復傾向にあるが、全国旅行支援実施中と比べて落ち込みが見られる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内宿泊事業者からは、インバウンドに頼ることなく、国内観光客を盤石とする必要があるとの声が大きくなっており、本事業を継続することは必須。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	